

お客様各位

(社内への周知・回覧をお願いします)  
※以前名刺交換をさせて頂きましたお客様に情報提供をさせて頂いております。

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

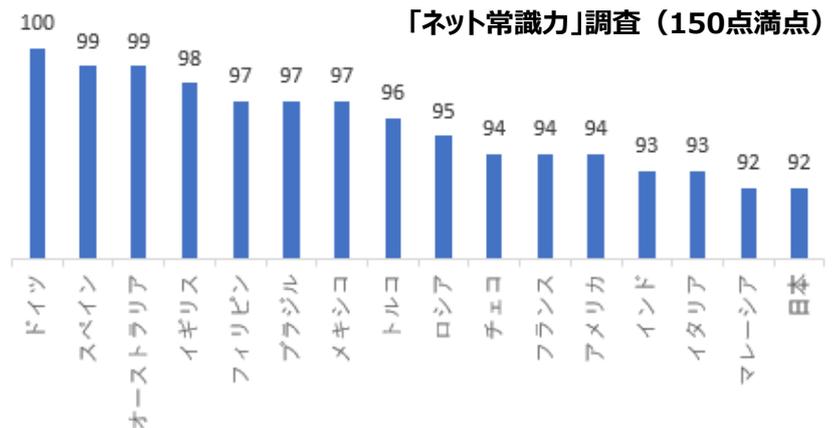
前号では「情報セキュリティに取り組まなければならない理由」を取り上げました。記事を参考にしてセキュリティ対策に取り組まれたお客様や、すでに実施されているお客様もいらっしゃるかと思いますが、なかなか社内のセキュリティ意識が高まらず、苦勞されているお客様もいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで今回は「会社のセキュリティ意識改革」についてご案内します。

## 『情報セキュリティに全社で取り組まなければならない理由』第2部

### 重要なのは「意識改革」鶴の一声が会社を動かす

日本はインターネットを使用する上での個人のセキュリティ意識が、世界と比べてとても低いという統計が出ています。ネットセキュリティに関する調査結果を見てみると、インターネット・セキュリティ会社Kaspersky Lab実施の「ネット常識力テスト」では、世界16か国のうち日本の平均点は最下位。まさか自分が被害にあうとは思っていない人が多く、それが対策への意識の低さにつながっているようです。

こうしたセキュリティ意識を改善するには、「トップダウン」で経営層の方々が社員に向けて「教育」していく必要があります。組織における情報セキュリティ教育は、「**情報セキュリティポリシーを周知徹底する**」「**情報セキュリティの脅威と対策を知る**」という2点になります。



#### ①情報セキュリティポリシーを周知徹底する

組織内のセキュリティ対策の第一歩は、組織の情報セキュリティポリシーを作成することです。また、情報セキュリティポリシーは作成するだけでなく、社員全員に具体的にどのようにセキュリティポリシーを守るのかを周知徹底して初めてその効力を発揮します。例えば、守らなかった場合の罰則や組織への被害、遵守事項や禁止事項、監視していることなどを伝えておきます。また、セキュリティポリシーと実施手順はいつでも見られるようにしておきます。

#### ②情報セキュリティの脅威と対策を知る

何故情報セキュリティポリシーを守る必要があるのかが分からないと、セキュリティポリシーを守り続けることはできません。業務に係わる全ての人に、基本的な心構えや最新のサイバー被害の事例や教えていきましょう。

教育とその記録、フォローアップをしていけば、自ずとセキュリティ意識が高まっていくはずですが、どのように情報セキュリティポリシーを作成して教育していくか、ぜひ弊社にご相談下さい。継続して取り組んでいけるようサポートをさせていただきます。

敬具

社内回覧確認枠

--	--	--	--	--

発行：株式会社サンエイ

電話：084-922-6190

FAX：0120-22-6190

今後情報提供が不要な場合はチェックを頂きご返信ください。

御社名：

---